記　者　発　表　資　料

令和８年 11 月 16 日
横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
脱炭素社会移行推進部
横浜市資源循環局事業系廃棄物対策部
横浜市資源循環推進プラットフォーム
一般社団法人横浜みなとみらい21
アライドコーヒーロースターズ株式会社

みなとみらい２１地区を中心とする横浜市内で コーヒーグラウンズを焙煎燃料として活用する実証実験を実施します

みなとみらい21地区では、横浜市と一般社団法人横浜みなとみらい21との共同提案により、環境省が公募する「脱炭素先行地域」に選定（令和4年4月）され、電力や熱の脱炭素化に加えて、廃棄物削減・利活用などに取り組んでいます。

このたび、横浜市は、アライドコーヒーロースターズ株式会社（以下「アライドコーヒーロースターズ」という。）と連携し、コーヒーグラウンズ※をコーヒー豆の焙煎の熱源として再利用する実証実験を行います。本実証を通じて、都市部で分散して発生するコーヒーグラウンズの効率的な回収・資源化と、事業として持続可能な循環モデルの構築を目指します。

※コーヒーグラウンズ：ドリップなどの抽出を終えたあとに残るコーヒーかすのこと

1　取組の背景及び趣旨

みなとみらい 21 地区では、地域における資源循環の状況を把握・可視化する取組を進めています。その分析の結果、地区内で発生する廃棄物の中でも食品残さの割合が高いことがわかり、削減への取組について検討を進めてきました。そうした中、アライドコーヒーロースターズから「横浜市資源循環推進プラットフォーム」を通じて本取組の提案があり、対話を重ねながら地域資源の有効活用に向けた検討を進めてきました。

コーヒー豆の焙煎工程では多くの熱エネルギーを必要とし、その燃料の多くを化石燃料に依存しています。一方で、コーヒー抽出後に発生するコーヒーグラウンズは、その大半が廃棄されているのが現状です。

こうした課題を踏まえて、コーヒー産業における資源循環の可能性に着目し、環境省の「令和8年度地域資源循環促進支援事業　循環型ビジネスモデル実証事業」に、アライドコーヒーロースターズが代表申請者となり、横浜市及び神戸市が連携自治体として応募し、採択されました。

本実証では、これまで廃棄されていたコーヒーグラウンズを地域資源として回収し、乾燥・加工した上で焙煎用燃料として再利用する資源循環モデルを、みなとみらい21地区を中心とする横浜市内において検証します。


コーヒーグラウンズを活用したペレット


焙煎機

裏面あり

2　実証実験の概要

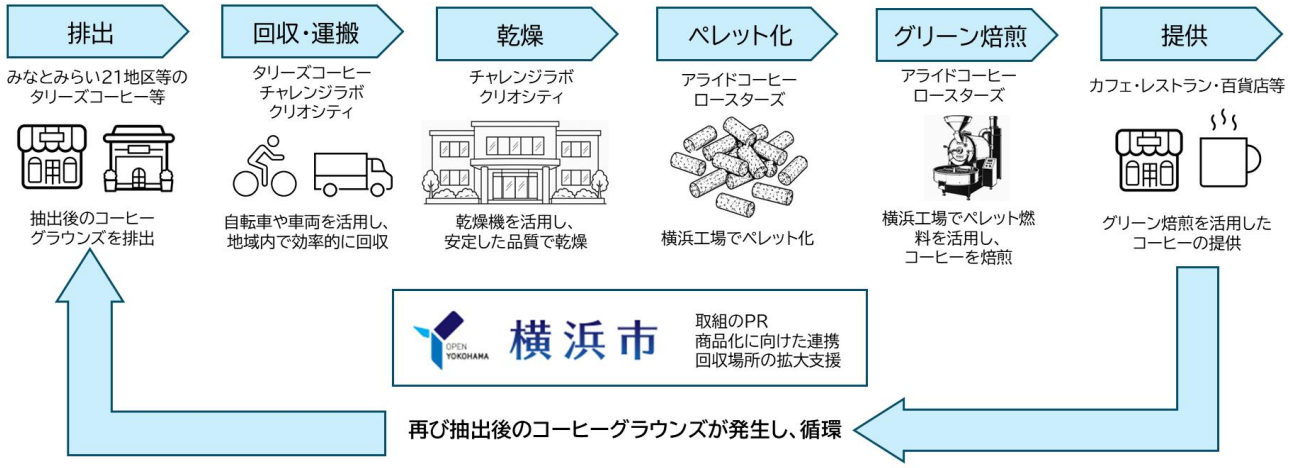
実施期間	令和８年 11 月から令和９年２月 12 日まで
実施エリア	みなとみらい21地区を中心とする横浜市内
回収対象	みなとみらい21地区を中心とする横浜市内のタリーズコーヒー等で発生する抽出後のコーヒーグラウンズ
主な実施者	アライドコーヒーロースターズ株式会社、タリーズコーヒージャパン株式会社、有限会社クリオシティ、就労継続支援 B 型事業所チャレンジラボ、就労継続支援 B 型事業所 Wahaha（包装デザイン）、北陽實業株式会社（乾燥機の改良）、横浜市
検証事項	コーヒーグラウンズの回収量・品質、回収・乾燥に要する作業とコスト、事業継続性、回収・運搬の効率性、温室効果ガス削減効果、市民・事業者の参加可能性等

※本実証は、「横浜市廃棄物を使用した試験研究に関する要綱」による承認を受けて実施しています。

3　事業スキーム

みなとみらい21地区を中心とする横浜市内のタリーズコーヒー等で排出されたコーヒーグラウンズをタリーズコーヒー、チャレンジラボ及びクリオシティが回収・運搬を行い、チャレンジラボ及びクリオシティで乾燥を行います。その後、アライドコーヒーロースターズ横浜工場でペレットに加工した後、コーヒー豆を焙煎する際の熱源として活用します。焙煎したコーヒー豆はカフェやレストラン、百貨店でコーヒーとして提供される予定です。

今後は、本取組のさらなる展開に向けて、アライドコーヒーロースターズ等と連携しながら、一般向け商品の販売の検討やコーヒーグラウンズの回収拠点の拡充などを進め、資源循環の取組を広げていきます。



（参考）アライドコーヒーロースターズ株式会社について

ALLIED COFFEE ROASTERS

1972 年創業のレギュラーコーヒー専門のメーカーです。横浜市都筑区をはじめ、国内に複数の工場を有し、国内第４位の焙煎量を誇ります。

長年培った焙煎技術を活かし、おいしさと品質を追求する一方、これまで廃棄されていたコーヒーグラウンズを燃料に変え、「コーヒーでコーヒーを焙煎する」独自のグリーン焙煎技術を開発しています。

この技術から生まれた循環型コーヒーブランド「巡珈-JUNCA-」は、環境への配慮だけでなく、焙煎のプロならではのおいしさにもこだわった商品です。

https://www.allied-coffee.co.jp/sustainability/

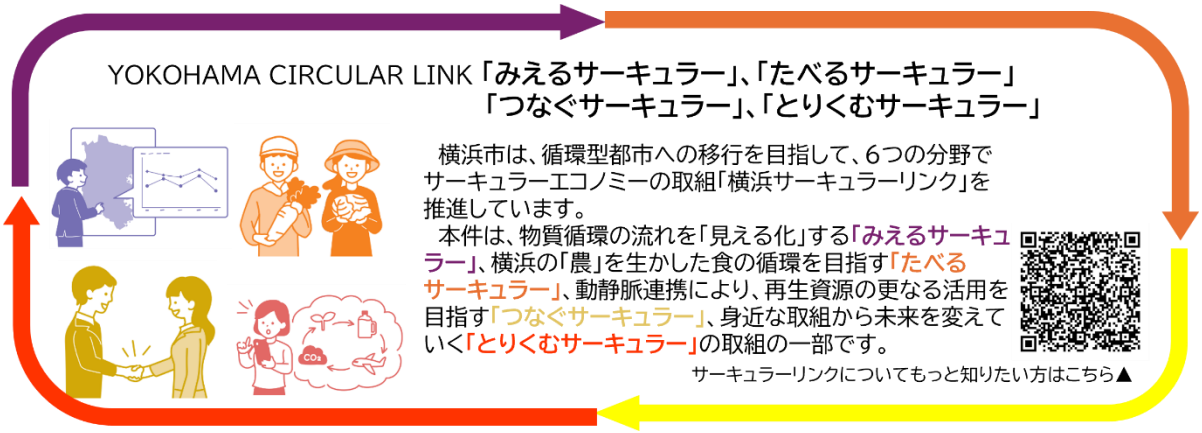
次頁あり

（参考）脱炭素先行地域とは

2050 年カーボンニュートラルに向けて、「地域脱炭素ロードマップ」に基づき環境省が公募する地域で、2030 年度までに「民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴う CO_2 排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現する地域です。46 の参画施設・事業者や脱炭素先行地域における取組はこちらをご覧ください
URL:https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/senkouchiiki.html

（参考）横浜市資源循環推進プラットフォーム

令和6年 10 月に、市内の廃棄物処理業者7社が中心となり発足しました。
このプラットフォームでは、主に市内での動脈産業と静脈産業が連携した取組を促進し、資源循環産業を活性化させることで本市の資源循環施策を推進することを目的としています。 横浜市は、プラットフォーム幹事企業7社との連携協定に基づき運営等を支援し、公民一体での議論を進めています。
URL:https://yrc-platform.my.canva.site



お問合せ先
（脱炭素先行地域の全般に関すること） 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局循環型社会推進課長　松下　Tel 045-671-2636 （横浜市資源循環推進プラットフォームに関すること） 横浜市資源循環局事業系廃棄物対策課担当課長　金田　Tel 045-671-2558 （みなとみらい21地区のまちづくりに関すること） （一社）横浜みなとみらい21　企画調整担当部長　樋口　Tel 045-682-4404 （コーヒーグラウンズの利活用全般に関すること） アライドコーヒーロースターズ株式会社　営業部マーケティング課課長　千田　Tel　080-8316-6963